青森市高齢者福祉·介護保険事業計画第9期計画 進捗状況 (令和6年度実績)

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第9期計画 進捗状況の概要

〇令和6年度自己評価結果一覧

	基本方向	施策番号	施策名	指標数		自己	評価		ページ番号
第1章	サキュニンベノ b	1-1	生きがいづくり・社会参加の促進	3	⊚…3	○…0	$\triangle \cdots 0$	×···0	1
	生きがいづくり・介護予防の推進	1-2	介護予防・重度化防止の推進	6	⊚…4	O···1	$\triangle \cdots 1$	×···0	2, 3
		2-1	在宅医療・介護連携の推進	3	⊚…3	○…0	$\triangle \cdots 0$	×···0	4
		2-2	地域包括支援センターの機能強化	3	⊚…3	○…0	$ abla \cdots 0$	×···0	5
第2章	地域における支援体制の充実	2-3	見守り・支え合いの推進	3	⊚…3	○…0	$ abla \cdots 0$	×···0	6
		2-4	住まいの充実	2	⊚…2	○…0	$ abla \cdots 0$	×···0	7
		2-5	安全・安心な暮らしの確保	5	⊚…5	○…0	$ \triangle \cdots 0 $	$\times \cdots 0$	8, 9
第3章	認知症施策の推進	3-1	認知症への理解・支援体制の推進	2	⊚…2	○…0	$ abla \cdots 0 $	×···0	9
₩9 年	於	3-2	認知症の予防・早期対応の推進	2	⊚…1	$\bigcirc \cdots 1$	$ \triangle \cdots 0 $	$\times \cdots 0$	10
第4章	権利擁護の推進	4-1	成年後見制度の利用促進	5	⊚…3	○…0	$\triangle \cdots 2$	×···0	11, 12
为4早	作作717年1受 (27年) (年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年	4-2	虐待防止対策の強化	2	⊚…2	○…0	$ \triangle \cdots 0 $	$\times \cdots 0$	12
	介護サービスの充実	5-1	サービス提供体制の確保	10	⊚…10	<u></u> 0	$ abla \cdots 0$	×···(13, 14
第5章		5-2	介護人材確保・生産性向上の推進	4	⊚…4	○…0	$\triangle \cdots 0$	×···0	15
		5-3	介護サービスの適正化	5	⊚…5	○…0	$ abla \cdots 0 $	×···0	16, 17

施策の数 14

目標とする指標の数 55

目標とする指標に対する自己評価の内訳

自己評価	指標数	
0	50	(91%)
0	2	(4%)
Δ	3	(5%)
×	0	(0%)
計	55	(100%)

<評価基準>

区分	評価基準	目安				
区分	计侧盔毕	目標とする指標の達成率				
0	順調に進捗している	達成率80%以上				
0	概ね順調に進捗している	達成率60%~79%				
Δ	やや進捗が遅れている	達成率30%~59%				
×	進捗が遅れている	達成率29%以下				

[・]自己評価の目安は、進捗状況を確認するための基準として県から示されたもので、県内一律となっています。

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第9期計画 自己評価シート

Ī	第1章	生きがいづくり	・介護予防の	推進
	施策番号	1–1	施策名	生きがいづくり・社会参加の促進

- 〈評価基準〉 ()内は評価の目安 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

× 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)							
施策番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応	
	1 生きがいづくり ・社会参加の促進	○高齢者福祉乗車証の利用状況 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回/人 24.3 24.3 24.3 実績値 回/人 25.5	○高齢者福祉乗車証交付事業 高齢者福祉乗車証を利用した回数…① 1,760,550回 (R5:1,739,520回) 年度末時点の70歳以上の高齢者数…② 68,930人 (R5:68,758人)		高齢者福祉乗車証交付事業の実施により、高齢者福祉乗車証の利用状況は目標値を上回りました。		
1-1		○65歳以上の地域福祉サポーター数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 861 928 995 実績値 人 769 達成率 89.3% (65歳以上の地域福祉サポーターの活動者 数(ボランティアポイント交換者数))	 ○生活支援体制整備事業 ○一般介護予防事業 ○地域福祉計画推進事業 ・地区カルテの整備・更新(市内全38地区の地区社会福祉協議会・地域包括支援センターに配付) ・ボランティアポイント制度の運用地域福祉サポーター登録者数 1,901人(R5:1,943人、うち65歳以上693人)※H29.10~制度開始・地域支え合い推進員の配置 6人(R5:6人) ・各地区社会福祉協議会の会議・研修等の活動参加数 97回(R5:88回) 			ランティア研修や出前講座、機関 紙を活用した情報発信などを行	
	2 介護予防・重度化 防止の推進	 ○シルバー人材センター会員の就業率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 78.2 78.8 79.5 実績値 % 76.5 達成率 97.8% (就業したシルバー人材センター会員の割合) 	○シルバー人材センター運営費助成事業シルバー人材センター会員の就業率R6実績:就業者数803人/会員数1,050人≒76.5%R5実績:就業者数779人/会員数1,049人≒74.3%		高齢者の生きがいづくりや就業意欲の向上等を推進するため、シルバー人材センターへの運営費助成により、同センター会員の就業率の達成率は97.8%でした。	うほか、会員の増加と高齢者の就 業の確保と拡大につながるよう、	

第1章	生きがいづくり	・介護予防の	推進
施策番号	1–2	施策名	高齢者の就業促進

- 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施番	策 主な取組 号 …	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 介護予防・フレイル予防の推進	○つどいの場への参加率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 7.5 8.0 8.0 実績値 % 5.7 - - 達成率 76.0% - - (第1号被保険者に占めるつどいの場への参加者数の割合)	 介護予防活動 つどいの場への参加者数と参加率 参加者数5,003人/第1号被保険者87,911人≒5.7% (R5:4,441人/87,923人≒5.1%) ※つどいの場は、地域住民が主体となって開催 (一般介護予防事業 ・つどいの場にロコモ予防体操等の指導者を派遣した回数 360回 (R5:430回) ・ボランティアポイント制度対象事業のうち介護予防の活動を行った活動者数と活動ポイント数 526人、12,459ポイント (R5:543人、11,242ポイント) 	0	年度より562人増加しましたが、つどいの場への参加率の達成率は	モ予防体操等の指導者や理学療法 士などのリハビリテーション専門 職の派遣、ボランティアポイント の付与による人材の確保等によ り、住民が主体的に介護予防活動
1	-2	 ○ポピュレーションアプローチの実施圏域数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 圏域 11 11 11 実績値 圏域 11	○後期高齢者医療訪問指導事業 [ポピュレーションアプローチ] ・フレイル予防の健康教育等を実施した回数、圏域 31回、11圏域(R5:42回、11圏域) ※青森市地域包括支援センターへ委託 [ハイリスクアプローチ] ・(受診行動適正化)医療機関の頻回・重複受 診者への保健指導実施人数 19人(R5:21人) ・(低栄養防止)体重減少者等への栄養指導 実施人数 180人(R5:215人) ・(重症化予防)糖尿病治療中断者への受診勧奨 実施人数 7人(R5:4人) ・(健康状態不明者の状況把握)健診・医療等 未受診者の状況把握人数 379人(R5:313人)	©	フレイル予防の健康教育・健康相談、フレイル状態の把握・保健指導を11圏域で実施することにより、ポピュレーションアプローチの実施圏域数は目標値に達しました。	疾病予防・重症化予防と介護の取組を一体的に実施していきます。
	2 健康づくりの推進	○健康講座等健康教育の開催回数 ~青森市健康寿命延伸計画で進捗管理~ 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 321 325 329 実績値 回 351 達成率 109.3% (市民のヘルスリテラシーの向上を図る目的で開催する健康講座等の開催回数)	 ○母子保健分野:親子のきずなづくり事業、 思春期健康教室事業 等 ※妊娠期から子育て期の親と子どもに対し、健康教育を実施 ○壮年期健康教育事業 ・青森市医師会との共催による健康教室の実施 ・保健師・管理栄養士等による健康講座の実施 ※テーマは、生活習慣病予防、心の健康、たばこ、 バランス食、高血圧予防等 (母子保健・成人保健分野)開催回数 351回(R5:304回) 	©	市民のヘルスリテラシーの向上を図るため、参加者へのアンケートの実施等によるニーズの把握とともに、可能な限り開催日時の調整にも応じるなど、開催に向けた工夫を行ったことにより、健康講座等健康教育の開催回数は目標値を上回りました。	化などに対応しながら、市の健康 課題に即した健康教育の機会の充

	3 多様なつどいの場の提供	 ○地域のつどいの場を週1回以上開催している地区社会福祉協議会数年度 単位 R6 R7 R8 目標値 地区 38 38 38 実績値 地区 21 - 空産成率 55.3% - ついまでである。 (地域のつどいの場を週1回(年間48回)以上開催している地区社会福祉協議会の数) 	 ○こころの縁側づくり事業 ・地域のつどい(地区社会福祉協議会単位で行うつどいの場)を開設した地区数と開催箇所数 38地区、122箇所(R5:38地区、109箇所) ・延べ開催回数 2,486回(R5:2,325回) ・週1回以上開催している地区社会協議会の数 21地区(R5:21地区) 	Δ	所、延べ実施回数も161回増の 2,486回となりましたが、地域の	り、住民が主体的に介護予防活動
1-2		 ○地区に関わらず参加ができるつどいの場を開催している活動拠点圏域数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 圏域 6 6 6 6 度積値 圏域 6 直成率 100.0% (地区に関わらず参加ができるつどいの場を開催している活動拠点圏域の数) 	 ○まちなかいきいきサロン ・地区にかかわらず参加ができるつどいの場を開催している活動拠点圏域の数 6圏域 (R5:5圏域) 【活動拠点圏域】 ①浜田周辺圏域(シーナシーナ青森) ②造道周辺圏域(ラ・セラ東バイパス) ③青森駅周辺圏域(アウガ) ④新青森駅周辺圏域(生協コスモス館) ⑤浪岡駅周辺圏域(浪岡老人福祉センター) ⑥操車場跡地周辺圏域(サンロード青森) 	©	高齢者の生きがいづくりや介護予防を目的に、日常生活の中で気軽に立ち寄ることができ、地区に関係なく誰でも参加できる「まちなかいきいきサロン」が、令和6年度に6つの活動拠点圏域すべてで開催できたことにより、目標値に達しました。	る活動が継続的に実施できるよ
	4 自立支援・重度 化防止の推進	○要介護等認定率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 19.6 19.6 19.6 実績値 % 19.7	 ○地域ケア会議推進事業 ・自立支援型会議開催回数 3回 (R5:4回) ○介護サービス適正化実施指導事業 ・ケアプランの点検件数 45件 (R5:45件) うちアドバイザーによる点検 2件 (R5:2件) 	©		門職 (リハビリテーション専門職、栄養士等)を派遣し、地域ケア会議の開催を支援するととも

第2章	地域における支	援体制の充実		
施策番号	2-1	施策名	在宅医療・介護連携の推進	

- 〈評価基準〉 ()内は評価の目安 ② 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 医療・介護関係者 の連携促進	 ○在宅医療・介護連携のための多職種研修会参加数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 204 204 204 実績値 人 205 達成率 100.5% (医療・介護関係者等の多職種研修会(グループワーク等)に参加した人数) 	 ○在宅医療・介護連携推進事業 ・在宅医療・介護連携のための多職種研修会開催回数 1回 (R5:1回)参加者数 205人 (R5:149人) 【その他の取組】 ○在宅医療・介護連携推進事業 ・在宅医療ケア知識向上研修会開催回数 4回 (R5:4回)参加者数 260人 (R5:356人) ・認知症情報連携ツールの交付交付者数 5人 (R5:4人) 		在宅医療・介護連携のための多職 種研修会について、関係機関への 周知を行い、会場参加及びオンデ マンド配信による開催としたこと で、在宅医療・介護連携のための 多職種研修会参加数は前年度より も大幅に増加し、目標値を上回り ました。	るとともに、オンデマンド配信に よる開催を継続し、在宅医療と介
2-1	2 医療・介護が連携 したサービスの提 供	 ○在宅医療・介護関係者へのヒアリング実施回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 3 3 3 実績値 回 8 達成率 266.7% (医療・介護連携の現状把握や課題抽出等を行うためのヒアリングを実施した回数) 	○在宅医療・介護連携推進事業多職種ヒアリング 在宅医療・介護に携わる医療・介護関係者へ、 現状把握や課題抽出のためのヒアリングを実施 ・青森市医師会 ・青森市歯科医師会 ・青森県介護福祉士会 ・青森県門学療法士会 ・青森県理学療法士会 ・青森県時間看護ステーション連絡協議会 ・青森県栄養士会		国が示す在宅医療・介護連携推進事業の4つの場面「日常の療養支援」「急変時の場面「日常の療養対応」「看取り」について、8職能団体へのヒアリングを実施したことにより、在宅医療・介護関係者へのヒアリング実施回数は目標値を上回りました。	考に医療・介護関係者と連携した 取組を推進していくとともに、継 続して関係者へのヒアリングを実
	3 地域住民への普及・啓発	○医療・介護連携に関する出前講座 開催回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 24 24 24 実績値 回 35 達成率 145.8% (市及び地域包括支援センターが地域の会合 等の場で普及活動を行った回数)	 ○在宅医療・介護連携推進事業 「エンディングノート」「終活情報登録事業」について 市広報紙による周知 2回 「在宅介護・医療連携」「アドバンス・ケア・プランニング (ACP:人生会議)」「エンディングノート」「終活情報登録事業」について、市ホームページへ掲載・地域住民向け出前講座の実施 	(O)	市ホームページや広報紙への掲載 に加え、地域包括支援センターを 対象とした研修会等で取組を周知 したことにより、市及び地域包括 支援センターが地域の会合等にお 文ででの でで で で で で の 会 の 会 が 地域 の 会 が 増加 し ま し た。 そ の 結果、 所 の 開催回数は 目標値を 上回りました。	住民への出前講座等により、事業

第2章	地域における支	援体制の充実	
施策番号	2-2	施策名	地域包括支援センターの機能強化

- 〈評価基準〉 ()内は評価の目安 ② 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 相談支援の強化	 ○地域包括支援センターへの研修会等開催回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 13 13 13 実績値 回 13 達成率 100.0% (地域包括支援センター、在宅介護支援センターへの研修会や情報共有を行った回数) 	 ○包括的・継続的ケアマネジメント支援事業・地域包括支援センター連絡会担当者会議開催回数 12回(R5:12回) ○基幹型地域包括支援センター運営事業・地域ケア会議をテーマとした研修会開催回数 1回(R5:1回) 【その他の取組】 ○総合相談事業・相談件数 21,314件(R5:22,027件) 		各地域包括支援センター職員等の 資質の向上や関係機関等との連携 強化を図るため、地域包括支援センター連絡会の場を活用した研修 会等の開催により、地域包括支援 センターへの研修会等開催回数は 目標値に達しました。	に対応できるよう、人材育成を目 的とした研修会や随時の事例検討 会等を開催し、地域包括支援セン
2-2	2 効果的な運営の継続	○地域包括支援センターの運営評価の実施回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 1 1 1 1 実績値 回 1 達成率 100.0% - - (地域密着型サービス等運営審議会において、地域包括支援センターの運営評価を実施した回数)	○基幹型地域包括支援センター運営事業 ・青森市地域密着型サービス等運営審議会における各包括 の運営評価の実施回数 1回 (R5:1回)	©	青森市地域密着型サービス等運営 審議会において、地域包括支援センターの運営評価を行ったことから、運営評価の実施回数は目標値に達しました。	の事業の質の向上を図るととも に、運営評価を実施し、地域包括
	3 地域ケア会議の充 実	 ○日常生活圏域ケア会議の開催回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 22 22 22 実績値 回 21	 ○地域ケア会議推進事業 ・地域ケア会議 137回 (R5:140回) (内訳) 地域ケア個別会議 115回 (R5:122回) 日常生活圏域ケア会議 21回 (R5:17回) 地域ケア推進会議 1回 (R5:1回) 	©	常生活圏域ケア会議の開催回数の	を確認するとともに、必要に応じ

第2章	地域における支	を援体制の充実	
施策番号	2-3	施策名	見守り・支え合いの推進

- 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 見守り体制の強化	○帰宅困難高齢者等の新規事前登録者数 <u>年度 単位 R6 R7 R8</u> 目標値 人 108 108 108 実績値 人 120	○高齢者見守り体制確保事業 ・青森圏域連携中枢都市圏(青森市、平内町、今別町、 外ヶ浜町、蓬田村)ビジョンの具体的取組(連携事業) ・帰宅困難高齢者等の新規事前登録 登録者数 120人 (R5:139人) 累計登録者数 588人 (R5:471人) ・見守り協力事業者として協定を締結した事業者数 累計58事業所 (R5:57事業所) ・行方不明高齢者等の情報をメールマガジンにより 配信した件数 1件 (R5:1件)		広報あおもりや市ホームページによる周知のほか、出前講座、地域のつどいの場等を活用した周知により、帰宅困難高齢者等の新規事前登録者数は目標値を上回りました。	有し、「高齢者等見守り活動の手引き」等を活用しながら、関係機関や民間事業者等、より多くの市
2-3	2 地域で支え合う意識づくりの醸成	○65歳以上の地域福祉サポーター数 【再掲】 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 861 928 995 実績値 人 769 達成率 89.3% (65歳以上の地域福祉サポーターの活動者数 (ボランティアポイント交換者数)	【再掲】 ○生活支援体制整備事業 ○一般介護予防事業 ○地域福祉計画推進事業 ・地区カルテの整備・更新(市内全38地区の地区社会福祉協議会・地域包括支援センターに配付) ・ボランティアポイント制度の運用地域福祉サポーター登録者数 1,901人(R5:1,943人、うち65歳以上693人)※H29.10~制度開始・地域支え合い推進員の配置6人(R5:6人) ・各地区社会福祉協議会の会議・研修等の活動参加数 97回(R5:88回)		65歳以上の地域福祉サポーター数 は昨年度より76人増加しました	ランティア研修や出前講座、機関 紙を活用した情報発信などを行
	3 支え合い活動の推進	○地域支え合い推進員の活動地区数年度 単位 R6 R7 R8 目標値 地区 38 38 38 実績値 地区 38 - - 達成率 100.0% - - - (地域支え合い推進員が活動している地区社会福祉協議会数)	【再掲】 ○生活支援体制整備事業 ○一般介護予防事業 ○地域福祉計画推進事業 ・地区カルテの整備・更新(市内全38地区の地区社会福祉協議会・地域包括支援センターに配付) ・ボランティアポイント制度の運用地域福祉サポーター登録者数 1,901人(R5:1,943人、うち65歳以上693人)※H29.10~制度開始・地域支え合い推進員の配置6人(R5:6人) ・各地区社会福祉協議会の会議・研修等の活動参加数97回(R5:88回)		「青森市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を青森市社会福祉協議会と一体的に策定し、より一層地域福祉活動の推進に取り組むこととした結果、地域支え合い推進員の各地区の会議・研修等の活動参加数が増加し、地域支え合い推進員の活動地区数は目標値に達しました。	ネットワーク (地域生活課題を地域で解決につなげるための環境) を市内全域に拡げるための活動を

第2章	地域における支	援体制の充実																																																																								
施策番号	2-4	施策名	住まいの充実																																														_	_																								

- 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 住宅改修等による 居住環境の充実	 ○住宅改修費支給件数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 件 715 724 735 実績値 件 801 達成率 112.0% (介護保険住宅改修費の支給件数) 	○介護予防住宅改修費支払事務・介護予防住宅改修 227件 (R5:236件)○居宅介護住宅改修費支払事務・居宅介護住宅改修 574件 (R5:557件)		住宅改修費支給件数の実績値は 801件に増加し、目標を達成しま	引き続き、介護が必要になってもできる限り在宅で生活することができるよう、高齢者の身体状況に応じた住宅改修の取組を促進していきます。
2-4	2 高齢者に適した住まいの確保	○有料老人ホームの一般検査実施率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 100 100 100 実績値 % 100	 ○有料老人ホーム等一般検査 一般検査の実施率 R6: 一般検査件数18/予定件数18=100% ○サービス付き高齢者向け住宅登録事業		一般検査の年間計画に沿った実施により、有料老人ホームの一般検査実施率は目標値に達しました。	サービス付き高齢者向け住宅にお

第2章	地域における支	援体制の充実	
施策番号	2-5	施策名	安全・安心な暮らしの確保

- 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

七左左				白口部		標の達成率29%以下) ┃
施策番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 生活支援サービス の充実	 ○日常生活圏域ケア会議の開催 回数【再掲】 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 22 22 22 実績値 回 21	 ○地域ケア会議推進事業 ・地域ケア会議 137回 (R5:140回) (内訳) 地域ケア個別会議 115回 (R5:122回) 日常生活圏域ケア会議 21回 (R5:17回) 地域ケア推進会議 1回 (R5:1回) 		域が2か所あったことから、日常 生活圏域ケア会議の開催回数の指標の達成率は95.5%でした。	【再掲】 日常生活圏域ケア会議の進捗状況 を確認し、必要に応じて日常生活 圏域ケア会議の運営に係る支援を 行いながら、地域包括支援セン ターの機能強化を図ります。
2-5	2 災害時等における 支援体制の推進	 ○平時からの情報提供に同意し個別避難を計画作成した避難行動要支援者数年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 6,469 6,488 6,507 実績値 人 6,429 達成率 99.4% ○平時から町(内)会、民生委員、警察署、消防署、避難支援者へ個人情報を提供することに同意し、個別避難計画を作成した避難行動要支援者の数) 	 ○災害時等における支援体制の推進 「屋根の雪下ろし支援」 ・屋根雪処理費用の一部助成:514件、13,923,394円(R5:6件104,000円) [間口除雪支援] ・福祉の雪対策事業(青森地区)登録世帯数 298世帯(R5:308世帯)延実施回数 12,344回(R5:7,297回) ・高齢者世帯等冬期除雪サービス事業(浪岡地区)登録世帯数 29世帯(R5:33世帯)延実施回数 721回(R5:590回) ○災害時等における地域福祉活動の充実防災訓練事業・青森市総合防災訓練:参加住民620人(R5:521人)自主防災活動促進事業・自主防災組織結成町会:196町会(R5:197町会) 			
	3 消費者被害防止対策の推進	○ 啓発事業などへの参加者数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 4,940.0 5,080.0 5,220.0 実績値 人 5,390.0	 ○消費者教育啓発活動推進事業 ・消費生活出前講座 16回 540人受講(R5:16回 609人) ・消費者月間パネル展 2日間 189人に啓発(R5:2日間 88人) ・消費者被害防止活動 5回 1,200人に啓発(R5:5回 1,350人) ・成人式及び高齢者を対象とした研修会等での啓発活動		消費生活出前講座や月間パネル展の開催、相談窓口紹介ネットワーク活動員を通じた注意喚起情報提供等の実施により、啓発事業などへの参加者数は目標値を上回りました。	止のため、地域の身近な関係者に よる見守りや、啓発活動を実施し
	4 交通安全教育の推 進	○交通事故による高齢者の死者数 ~青森市交通安全計画で進捗管理~ 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 3.0 3.0 3.0 実績値 人 2.0	○交通安全教育の推進・高齢者対象交通安全指導の実施状況 開催回数 25回 (R5:19回) 参加者数 4,028人 (R5:1,897人)	0	高齢者対象交通安全指導の実施により、交通事故による高齢者の死者数は減少しましたが、依然として高齢者が犠牲となる交通事故が発生しています。	加害者となる交通事故の発生を抑 止するため、高齢者自身が安全な

第3章	認知症施策の推	進	
施策番号	3–1	施策名	認知症への理解・支援体制の推進

- <評価基準> ()内は評価の目安

 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)

 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)

 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)

 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 認知症に関する 理解の促進	○認知症サポーター数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 23,423 24,305 25,187 実績値 人 23,797 達成率 101.6% (認知症サポーター養成講座を受講した累計 人数)	 ○認知症高齢者対策事業 ・認知症サポーター養成講座の開催開催回数 43回(R5:40回)参加者数 1,197人(R5:941人)参加者数累計 23,797人(R5:22,600人) 【その他の取組】 ○認知症フォーラムの開催開催日:令和6年9月14日内容:認知症専門医による講演認知症本人及び家族メッセージとチームオレンジの活動紹介等参加者数:203人 		キュラムに認知症サポーター養成 講座を導入し、認知症に関する知	画に盛り込まれている、共生社会 の実現に向けた「新しい認知症
3-1	2 認知症の人やその 家族を支える支援 体制の推進	○チームオレンジが活動している 圏域数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 圏域 11 11 11 実績値 圏域 10 達成率 90.9% (認知症の人や家族を支援するチームオレンジが活動している圏域数)	 ○認知症総合支援推進事業 ・チームオレンジの活動圏域数 10圏域(R5:8圏域) 【その他の取組】 ○認知症高齢者対策事業 ・認知症ステップアップ講座の開催開催回数 6回(R5:13回)参加者数 68人(R5:219人) ・各地域包括支援センターへの認知症地域支援推進員の配置配置数 33人(R5:35人) ・認知症カフェ等の開催開催回数 126回(R5:112回)参加者数 2,060人(R5:1,684人) ・若年性認知症の人と家族のつどい「ゆるっと会」の開催開催回数:年4回内容:レクリエーションや家族同士の交流(情報交換)延参加者数:16人 		認知症サポーターステップアップ 講座の開催等により、認知症の方 やその家族が必要とする支援を行 うボランティア「チームオレン ジ」が活動している圏域数は昨年 度より2圏域増加しましたが、達 成率は90.9%でした。	てもチームを結成することから、 継続的に活動支援を行い、認知症 の人や家族を支える支援体制を強

第3章	ᆸᇬᄯᇚᆕᇏᆇᄼᄼᆥᅋ	進		
施策番号	3-2	施策名	認知症の予防・早期対応の推進	

- 〈評価基準〉 () 内は評価の目安 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 認知症の予防の推進	○つどいの場への参加率【再掲】 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 7.5 8.0 8.0 実績値 % 5.7 達成率 76.0% (第1号被保険者に占めるつどいの場への参加者数の割合)	【再掲】 ○介護予防活動 っどいの場への参加者数と参加率 参加者数5,003人/第1号被保険者87,911人≒5.7% (R5:4,441人/87,923人≒5.1%) ※つどいの場は、地域住民が主体となって開催 ○一般介護予防事業 ・つどいの場にロコモ予防体操等の指導者を派遣した回数 360回 (R5:430回) ・ボランティアポイント制度対象事業のうち介護 予防の活動を行った活動者数と活動ポイント数 526人、12,459ポイント (R5:543人、11,242ポイント)	0	【再掲】 地域住民が主体となって開催しているつどいの場への参加者数はで年度より562人増加しましたが、年度より562人増加しましたが、20%でした。 一ででした。地域活動を敬遠する高齢者のうながでした。地域活動を敬遠する高齢者のうなが活動内容に興味があるま考えていることがでいる。 地域活動を敬遠する高齢者のうながるともができまったで認高がにただくの参加がるともがでいたがともがで気を表している場所にあるがあるより、りり取り組んでいるます。	モ予防体操等の指導者や理学療法 士などのリハビリテーション専門 職の派遣、ボランティアポイント の付与による人材の確保等によ
3-2	2 認知症の早期発見・早期対応	○脳の健康チェックの実施者数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 372 372 372 実績値 人 652 達成率 175.3% (タブレット端末のアプリによる脳の健康チェック 実施者数)	 ○認知症高齢者対策事業 ・タブレット端末のアプリによる脳の健康チェック実施回数 67回 (R5:71回)実施者数 652人 (R5:615人) 【その他の取組】 ○認知症総合支援推進事業 ・「認知症ケアパス」の更新 ○認知症総合支援推進事業 ・認知症初期集中支援チーム支援件数 1件 (R5:1件) 	©	個別訪問のほか、認知症カフェ機会を提え、タブレックを増末を利用と脳の健康チェックをされた内臓の健康が立て、大変を表した。 意または物には外ででは、大変を観点では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変	し、適切な医療や介護サービスに

第4章	権利擁護の推進		
施策番号	4–1	施策名	成年後見制度の利用促進

- 〈評価基準〉 ()内は評価の目安 ② 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 相談・支援体制の 充実	○成年後見活動について、地域ケア会議で検討を行う体制づくりができている圏域数年度 単位 R6 R7 R8 目標値 圏域 11 11 11 実績値 圏域 11 達成率 100.0% (成年後見人等を必要とする高齢者への支援について、地域ケア会議で検討を行う体制づくりができている圏域数)	 ○地域ケア会議推進事業 ・成年後見活動について、地域ケア会議で検討を行う体制づくりができている圏域数 11圏域 (R5:11圏域) ○権利擁護事業 ・地域包括支援センターにおいて、成年後見制度に関する相談に応じた件数 119件 (R5:109件) 	©	市内11か所の地域包括支援センターにおいて、成年後見制度に関する相談に対応し、必要な支援に繋げていることから、成年後見活動について、地域ケア会議で検討を行う体制づくりができている圏域数は目標値に達しました。	
	2 成年後見制度の利 用支援	○成年後見制度の利用者数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 660 685 711 実績値 人 672 達成率 101.8% (成年後見人制度(法定後見・任意後見)を利 用している人数)	 ○成年後見制度利用者数(青森市) 672人(R5:636人) ○成年後見制度利用支援事業 市長申立件数 81件(高齢者75件、障がい者6件) (R5:69件(高齢者64件、障がい者5件)) ・報酬助成件数 91件(高齢者76件、障がい者15件) (R5:71件(高齢者59件、障がい者12件)) ・報酬助成金額 18,902,429円(高齢者15,598,429円、障がい者3,304,000円) (R5:13,772,105円(高齢者11,568,105円、障がい者2,204,000円)) 	©		加傾向にあることから、引き続
4-1	3 市民後見人等の育成・活躍支援	 ○市民後見人養成講座修了者に対する研修会開催回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 2 2 2 2	○市民後見人養成講座修了者に対する研修会 (市民後見人フォローアップ研修) 開催回数 1回 (R5:1回) 受講者数 18人 (R5:19人)		コロナ禍中の開催中止等を経て、 令和4年度に開催(1回)した際 は、コロナ禍以前より大幅に受講	る研修会の開催に当たっては、実際の市民後見人としての活動に繋げられるようなカリキュラムとするほか、受講のしやすさにも配慮
		○市民後見人の候補者数 <u>年度 単位 R6 R7 R8</u> 目標値 人 10 15 20 実績値 人 6 達成率 60.0% (市民後見人養成講座を修了し、市民後見人の選定候補者となった人数)	○市民後見人候補者数 6人(市民後見人登録簿への登録者45人へのアンケートにおいて、「市民後見人としてすぐに活動できる」と回答した人数)○R6年度に市民後見人として活動した人数 2人	Δ	市民後見人養成研修修了者のスキプのため、フォーアップのため、フォーア後見人を関催しましたが、市民後角でとして活動できる候補者は標のを開催しまるのがでした。 登録者のうち6人でした。 造成率は60.0%でした。 市民後見人候補者数成研修修見人候補者数成研修修見として、事情が終見人候不る事情がいる者の高齢化やはなった活動をされる。 動がで、まとしないの話の低下等が挙げられます。	開催し、名簿登録者のスキルアップを図るほか、市長申立案件のうち市民後見人に適した案件がある場合には、候補者を家庭裁判所への推薦に繋げるなど、市民後見人の活動事例の増加と候補者の確保

4 成年後見制 及・啓発 4-1	度の普	【再掲】 ○終活に関する出前講座の開催 開催回数:11回 ○在宅医療・介護連携推進事業 ・「エンディングノート」「終活情報登録事業」について 市広報紙による周知 2回 ・「在宅介護・医療連携」「アドバンス・ケア・プランニング (ACP:人生会議)」「エンディングノート」「終活情報登録 事業」について、市ホームページへ掲載	©	【再掲】 終活支援として、緊急連絡先や葬 儀・遺品整理の生前契約先などの 情報を、医療機関や警察、家族等 からの照会に対し、市が本人に代 わりに伝える「終活情報登録事 業」を開始したことにより、市民 の終活に対する関心は高まったも のの、終活に関する出前講座の実 施回数の達成率は91.7%でした。	ともに出前講座を開催するほか、 市民からの終活に関する相談への
------------------------	-----	---	---	--	------------------------------------

集団指導への事業所及び施設の参加率)

	l章 権利擁護の推進 番号 4-2	<u>É</u> 施策名 虐待防止対策の強化		<評価基準> () 内は評価の目 ◎ 順調に進捗している(目標とする ○ 概ね順調に進捗している(目標とする △ やや進捗が遅れている(目標とす × 進捗が遅れている(目標とする指	指標の達成率80%以上) する指標の達成率60%~79%) る指標の達成率30%~59%)	
施策 番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 高齢者虐待防止に 向けた体制整備の 強化	○高齢者虐待防止の研修会等を開催した圏域数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 圏域 11 11 11 実績値 圏域 11	○高齢者虐待防止の研修会等を開催した圏域数 11圏域・広報あおもりによる周知 1回・市ホームページへの掲載○介護事業所等への周知(地域包括支援センター連絡会担当者会議、集団指導)	0	市が行う集団指導等において、介 護事業所に対し高齢者虐待防止の 周知啓発を行うとともに、全ての 地域包括支援センターにおいて、 地域住民や介護事業者を対象に、 高齢者虐待防止をテーマとした研 修会等を開催したことから、高齢 者虐待防止の研修会等を開催した 圏域数は目標値に達しました。	情報を共有するなど、全圏域で研 修会等を実施できるよう取り組み
4-2	2 高齢者虐待への対 応強化	○高齢者虐待防止のための集団指導への介護サービス事業者等の参加率 「年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 100.0 100.0 100.0 100.0 実績値 % 100.0 で成率 100.0% (高齢者虐待防止のための情報提供等を行う を思せば、のませまれていた。これではいませます。	 ○集団指導 開催回数 1回 (R5:1回) 開催期日 R7.3.24 参加事業所数 719事業所 ※ホームページへの資料掲載、YouTubeでの配信を行い、 質問票、受講確認票を受付 	0	市ホームページへの会議資料の掲載やYouTubeで配信を行うなど、高齢者虐待防止について、広く周知啓発を行ったことにより、高齢者虐待防止のための集団指導への介護サービス事業者等の参加率は目標値に達しました。	ムページやYouTubeを活用し、介 護事業者に対する高齢者虐待防止 に関する情報提供を行うなど、周

第5章	介護サービスの)充実	
施策番号	5–1	施策名	サービス提供体制の確保

- 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策	→ +- T= 40				× 進捗が遅れている(目標とする指	
番号	主な取組	目標とする指標 		自己評 価結果	達成状況/課題 	今後の対応
	1 施設・居住系サ ービスの整備	 ○特別養護老人ホーム入所待機者数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 人 172 172 114 実績値 人 125	○老人福祉施設整備費補助金交付事務 ・特別養護老人ホーム 2件 (社会福祉法人和幸園) ・認知症対応型共同生活介護 2件 (株式会社トラスト・メイト、株式会社三協ホーム) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1件 (社会福祉法人緑鴎会) 計5件、交付額162,091千円(R5:計4件、交付額116,594千円)	©	特別養護老人ホーム入所待機者数が125人に減少し、目標を達成しました。 中重度の入所待機者が解消されるよう、施設・居住系サービスの整備を進めていく必要があります。	スケジュールに沿って、必要な施 設・居住系サービスの計画的な整
		 ○施設数(①~③)(累計) ①地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護施設数(累計) 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 施設 6 6 8 実績値 施設 6 達成率 100.0% 	○施設開設準備経費補助金交付事務 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1件 (社会福祉法人緑鴎会) 計1件、交付額4,151千円(R5:計4件、交付額48,295千円)	©	累計の施設数は、概ね目標を達成したものの、②③のサービスは公募への応募がありませんでした。地域包括ケアを推進していくため、地域密着型の施設・居住系サービスの整備を進めていく必要があります。	スケジュールに沿って、地域密着 型の施設・居住系サービスの計画
		②認知症対応型共同生活介護施設数 (累計) 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 施設 61 61 62 実績値 施設 60 達成率 98.4%	○令和6年度地域密着型サービス事業者公募、選定結果 ①地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (公募件数:2 応募件数:2 選定件数:2) ②認知症対応型共同生活介護 (公募件数:1 応募件数:0 選定件数:0) ③地域密着型特定施設入居者生活介護 (公募件数:1 応募件数:0 選定件数:0)	0		
5-1		③地域密着型特定施設入居者生活介護施設数 (累計) 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 施設 2 2 3 実績値 施設 2	 ④小規模多機能型居宅介護 (公募件数:1 応募件数:1) ⑤看護小規模多機能型居宅介護 (公募件数:1 応募件数:0 選定件数:0) ⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (公募件数:1 応募件数:0 選定件数:0) 一次要件数:0 	©		
	2 在宅サービスの充 実	 ○事業所数(④~⑥)(累計) ④小規模多機能型居宅介護事業所数(累計) 年度 単位 R6 R7 R8 目標値事業所 9 9 10 実績値事業所 9	計 公募件数:7 応募件数:3 選定件数:3		累計の事業所数は、概ね目標を達成したものの、⑤⑥のサービスは公募への応募がありませんでした。 介護を必要とする高齢者が在宅で介護サービスを安心して利用できるよう、地域密着型の在宅サービスの充実を図る必要があります。	スケジュールに沿って、地域密着
		⑤看護小規模多機能型居宅介護事業所数 (累計) 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 事業所 2 2 3 実績値 事業所 2		©	7.17,11,7,12,12,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,	
		⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数(累計) 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 事業所 4 4 5 実績値 事業所 4 達成率 100.0%		©		

	3 災害・感染症対策に係る体制の充実	 ○災害・感染症発生時における業務継続計画(BCP)の策定率 ①自然災害発生時における業務継続計画(BCP)の策定率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 100.0 100.0 100.0 100.0 (100.0 100.	 ○事業所等への周知啓発 ・令和6年度から業務継続計画(BCP)の策定が義務化(経過措置期間終了)となったこと及び令和6年度報酬改定により未策定減算が新設されたことについて事業所等へ周知啓発を行いました。 ・国のガイドラインや研修会等に関する周知のほか、市の集団指導において事業所等に対し業務継続計画(BCP)の策定支援を行いました。 ・市ホームページに業務継続計画に関する情報を掲載し、策定支援を行いました。 	0	事業所等への周知啓発を行ったものの、業務継続計画(BCP)の策定率は、災害発生時が93.2%、感染症発生時が94.7%でした。令和6年度から計画の策定が義務化されたことから、全ての事業所等において計画が策定されている必要があります。	き、計画策定の支援及び指導を行
5-1	4 介護保険料収納率の向上	○介護保険料収納率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 99.55 99.55 99.55 実績値 % 99.64	 介護保険料徴収事務 納付相談(青森市高水温ホタテガイ被害の影響による相談を含む)、督促状送付、納付お知らせセンターからの電話による納付勧奨、催告書の送付、財産の差押えを行いました。 ○介護保険料賦課事務 ・リーフレットの配付 介護保険制度周知用リーフレット 3,933件(R5:4,221件) (介護保険料説明用リーフレット 90,528件(R5:90,518件) (介護保険料納入通知書等に同封し配付) ・給付制限措置 支払方法の変更(償還払い化)4件(R5:5件) (1年以上1年6か月未満の滞納がある場合) 保険給付の支払の一時差止 0件(R5:0件) (1年6か月以上2年未満の滞納がある場合) 給付額減額等 25件(R5:55件) (2年以上の滞納がある場合) 	0	介護保険料収納率は目標を達成し、順調に進捗しています。	納付相談、督促、納付勧奨、電話 催告、文書催告を実施し、納付が 困難な方には減免申請や分割納付 を案内し、資力がありながら納付 しない滞納者に対しては、財産の 差押えをすることで収納率の向上 に努めます。

第5章	介護サービスの)充実	
施策番号	5–2	施策名	介護人材確保・生産性向上の推進

- 〈評価基準〉 ()内は評価の目安 ② 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 介護人材の確保	 ○介護人材の確保に関する情報提供件数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 件 15 15 15 実績値 件 12 達成率 80.0% (就職相談会、講習会等の介護人材確保に関する情報を広報あおもりに掲載し情報提供をした件数) 	○介護従事者確保に関する広報あおもりへの掲載 掲載件数 12件 (R5:11件)○令和6年度福祉・医療のしごと就職フェアの実施 (青森県福祉人材センターとの共催事業) 福祉・医療分野への就職希望者を対象に、就職相談等を実施	©	介護従事者確保に関する広報あおもりへの掲載を行ったものの、指標の達成率は80.0%でした。	介護分野への多様な人材の参入を 促進するため、引き続き、県や関 係団体等と連携を図り、介護人材 の確保に関する情報提供を行いま す。
	2 介護現場の生産性 の向上	 ○青森県介護サービス事業所認証評価制度の認証法人数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 法人 11 12 13 実績値 法人 9 達成率 81.8% (青森県介護サービス事業所認証評価制度の認証を受けている市内の法人数) 	実施日:令和7年3月1日(土)13:00~16:00 場 所:青森市役所本庁舎サードプレイス 参加法人:24法人 参加者:51名	0	青森県介護サービス事業所認証評 価制度の認証法人数は、達成率が 81.8%でした。	
5-2		○生産性向上に関する支援の実施回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 1 1 1 実績値 回 1 - - 達成率 100.0% - - (集団指導により、生産性向上を促進するための情報提供等の支援を行った回数)	 ○介護現場の生産性の向上 ・国の電子申請・届出システムによる申請、届出を開始 (令和7年2月から) ・国が定めた「介護保険施設等運営指導マニュアル」に基づき、 効率的な運営指導を実施 ・国や県などの関係機関が実施する各種セミナーやイベント等 の開催について、随時メール等により事業者へ情報提供 		集団指導において電子申請・届出 システムの利用について周知を行 うなど、生産性向上に関する支援 を行い、目標を達成しました。	ための情報提供等を行うなど、必
		○介護ロボット導入事業所の割合 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 77.3 増加 増加 実績値 % 77.3 達成率 100.0%	○介護ロボット導入状況調査の実施 調査期間:令和6年9月26日~同年10月20日 回答率:20.8%(154事業所等/741事業所等) 導入率:77.3%(119事業所等/154事業所等)	©	令和6年度に、介護ロボット導入 事業所の割合を調査し、目標値を 設定しました。 更なる業務の効率化及び介護サー ビスの質の向上を図るため、介護 ロボット等の導入を進めていく必 要があります。	

第5章	介護サービスの	充実	
施策番号	5–3	施策名	介護サービスの適正化

- 〈評価基準〉 ()内は評価の目安 ② 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標	令和6年度の実施内容	自己評 価結果	達成状況/課題	今後の対応
	1 介護給付の適正化 の推進	○要介護認定の適正化実施率 <u>年度 単位 R6 R7 R8</u> 目標値 % 100 100 100 実績値 % 100 達成率 100.0% (要介護認定の変更認定又は更新認定について認定調査の内容に関する点検を実施した割合)	 ○介護サービス適正実施指導事業 ・要介護認定の適正化実施率 点検件数11,212件/申請件数11,212件=100% (R5点検件数:11,827件) 		要介護認定の変更認定、更新認定の申請について、全ての認定調査内容を、市の適正化推進員が点検を行い、目標を達成しました。	サービス費の増加が見込まれるこ
5-3		○ケアプランの点検件数 <u>年度 単位 R6 R7 R8</u> 目標値 件 40 40 40 <u>40</u> 実績値 件 45	○ケアプラン等の点検 ・ケアプランの点検件数 17事業所、45件 (R5:16事業所、45件) 【その他の取組】 ・福祉用具貸与利用状況の点検件数 43件 ・住宅改修の点検件数 22件 ※住宅改修サービスの施工状況等や福祉 用具貸与サービス利用状況等の点検件数 ・ケアプラン検証会議の開催回数2回、件数4件 (R5:2回、3件) ※生活援助の訪問回数の多いケアプランの届出・検証 ※居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証 及び高齢者向け住まい等対策のケアプラン点検		介護支援専門員が作成した居宅介護サービス計画について、事業者から提出された資料の確認や訪問調査により点検するとともに、ケアマネジメントの支援を行い、目標を達成しました。	サービス費の増加が見込まれることから、点検の実施を継続し、介護給付の適正化の推進を図りま
		 ○縦覧点検・医療情報との突合の実施率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 100 100 100 実績値 % 100 達成率 100.0% (給付実績を活用した介護報酬の支払状況の点検や医療保険の入院情報との突合を実施した割合) 	○縦覧点検・医療情報との突合の実施率 点検件数4,477件/国保連から送付された 関係データ件数4,477件=100%(R5点検件数:3,430件)	0	医療と介護の重複請求を排除する ため、青森県国民健康保険連合会 の介護給付適正化システムによる 給付実績を活用して、介護報酬の 支払状況の点検及び医療情報との 突合を行い、目標を達成しまし た。	サービス費の増加が見込まれることから、点検の実施を継続し、介護給付の適正化の推進を図りま
	2 介護サービスの質 の確保	 ○研修会開催回数 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 回 1 1 1 実績値 回 2 達成率 200.0% (地域包括支援センター、介護支援専門員等に対する自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援するための研修会の開催回数) 	○介護サービス適正実施指導事業 ・ケアマネージャー研修会の開催回数 2回 (R5:2回)			

5-3	3 介護サービスの適正化	●運営指導の実施率 年度 単位 R6 R7 R8 目標値 % 100 100 100 実績値 % 100 - - 達成率 100.0% - - (介護サービス事業者に対して指定の有効期間内(6年)に1回以上の運営指導を実施した割合)	 ○介護保険関連施設等指導監査事業 ・運営指導の実施率 R6:指導等件数123/予定件数123=100% 【その他の取組】 ・集団指導 開催回数 1回 (R5:1回) 開催期日 R7.3.24 参加事業所数 719事業所 ※ホームページへ資料掲載し質問票、受講確認票を受付 ※開催期日・・ホームページへの資料掲載日 ※参加事業所数・・対象事業所件数 ・新規介護サービス事業者等説明会 開催回数 2回 (R5:2回) 	0	は、運営指導の年間計画に沿った 実施により、目標を達成しました。	引き続き、介護サービス事業の適切な運営と不正請求の防止、制度管理の適正化を図るため、効果的な運営指導及び集団指導等を計画的に行います。
-----	--------------	---	---	---	-------------------------------------	---